令和６年度　新発田市立佐々木中学校グランドデザイン

生徒の実態

○素直で前向きな態度
○基本的な生活習慣の定着
○明るい挨拶、素晴らしい歌声

△他者を思いやり理解する力
△困難に立ち向かう力
△他と関わり合う力

保護者地域の願い

○生徒の自立（保護者から）
○安全・安心で安定した学校（保護者・地域から）
○地域活性化への貢献（地域から）

＜教育目標＞
よく考え、進んで実践する生徒

＜重点目標＞
自分を大切にし、他との関わりの中で、
互いに高め合う生徒の育成
～豊かな体験活動と話合い活動を通して～

各指針等から

○自立した人間として、主体的に判断し、多様な人と協働しながら新たな価値を創造する人（国）
○ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひと（県）
○新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって、学び続ける子ども（市）

知育　目的を共有し、見通しをもち粘り強く課題に取り組む生徒の育成

○「課題に対して自分が選んだ方法で取り組むことで学びが深まった」と肯定的な回答をする生徒を、全校平均 90%以上にする。
○「授業がよく分かる」と肯定的な回答をする生徒の割合を全教科で全校平均 90%以上にする。

○個別最適な学びができるよう、ICT を利用した活動も取り入れた単元構想図を作成し、授業を行う。
○新発田市授業スタンダードに基づき、毎時間「めあて」を掲示して授業を行うとともに、次の学習意欲につながるよう時間ごとに授業の振り返りを行う。

○新発田市授業スタンダードに基づく授業改善チェック表による自己点検を行う。
○授業参観ウィークを設定し全教員が授業を参観する。参観後は、参観カードを記入する。記入内容を研推が集約し職員に回覧する。

徳育　認め合い、協力し合い、高め合える生徒の育成

○「自分の良さを見付け、自分を伸ばす」と肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
○「クラスや学校をよりよくしようと考えて、行動する」と肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
○「いじめやいじめにつながる行為をしなかった」と肯定的に回答する生徒の割合を 100%にする。

○諸活動で生徒個々に役割を与え、自己評価や相互評価を含む振り返りを行うなど自己有用感を育成する活動を推進する。
○課題を考え、自分の考えをもち、合意形成をするクラスミーティングや全校集会の場を設ける。
○自分事として考え、行動できる人権教育、同和教育を推進する。

○振り返り用紙をすぐに職員に回覧し共有する。その情報を基に生徒の頑張りを称賛する。
○クラスミーティングの内容や方法についての研修を行う。
○人権に対する職員の意識の高揚を図る。

体育　心身ともに健康でたくましい生徒の育成

○体力テストの記録が、４種目以上、前年度の自分の記録を更新する。
○秋に行う２度目の計測で、３種目以上、春の記録からさらに更新する。
○「食と生活習慣のキャンペーン」中の５項目の合計点が 80 点以上の生徒の割合をそれぞれ 80%以上とする。

○全校生徒で週１回、体力を高めるサーキットトレーニングを取り入れる。
○全校で毎学期、メディアコントロールを意識させる機会を設ける。

○体力トップ 10 の掲示を春と秋の２回実施し、記録向上の意識付けとする。
○取組の内容や結果を、ほけんだよりや掲示物を通して職員や保護者に周知する。

人権教育、同和教育を教育活動の土台とする

【地域との連携】地域のよさを知り、誇りに思える生徒を育成します。

【関係機関との連携】学校間、地域組織、行政等と連携し多様な体験活動を実施します。